

日本あちこち河川遡行記（第320回）

大阪-6. 近木（こぎ）川（その3） 令和3年12月15日（水）晴

冬の到来とともに山陰は氷雨と雪の季節となり、足は泉州の川に向かう。コロナ蔓延により中断していた近木川の続きに竹馬の友と一緒に掛ける。



01.今回調査区間位置図

南海難波駅で11時半に落合い38分発の急行に乗り貝塚に向かう。貝塚で「水間鉄道」に乗り換え、昨年3月に折り返した「水間観音」駅で下車。暫し駅で貝塚市のコミバス「ハーモニーバス」を待つ。昼を摂り40分ほど待ち13時15分発の黄バスに乗るべく府道のバス停に向かう。貝塚市のコミバスは4つの路線があり、路線名では無く色で表し、「緑」、「オレンジ」、「ピンク」、「黄」として、細長い貝塚市を海側から山側に路線えお4つに分けて運行している。黄バスは水間観音駅から市の山側の近木川の上流に向かうバスで運賃は220円である。普通コミバスは100円か200円の釣銭の要らない料金が多いがここは消費税をはっきりと表に出した運賃である。やがて真新しい鮮やかなレモン色のバスがやって来て乗車。今まで乗ったことの無い形式の小型バスで釣銭機が付いており、何とイコカも使える。コミバスの最高級レベルのバスである。

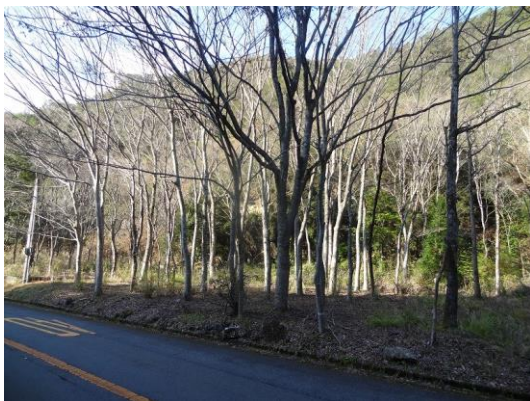


02.水間観音駅から13時15分発の貝塚市
は一もに一バスに乗る

03.最新型の正にイエローのコミバスがやっ
て来た

黄バスは近木川沿いの府道40号を上流に向かって行く。最後のまとまった大きな集落「蕎原」バス停で下車。バスはここでUターンし、少し先まで戻って支流の「梶谷川」沿いを下る一方通行の循環線である。蕎（そば）、梶（きょ）を組み込んだ地名で蕎原を（そぶら）、梶谷を（きびたに）と読む難読地名である。米の取れない谷間らしい地名ではある。バスが登って来た府道を逆遡行を開始する。今日は無風の晴れで条件は上々である。蕎原集落は大きな集落で平地の少ない谷間にこれだけの集落が維持できた生業が何だったのか友と考えるが答えは分からない。林業か養蚕なのかそれとも特産物の制作だったのかも知れない。

歩道の無い府道をゆっくりと下ってくるとブナらしき若木の林が右側に続く。川の源流部にある「和泉葛城山（H=858m）」はブナの森が国の天然記念物に指定されているがここにもブナが有るぞ。渇水期にも拘わらず川の水量が多いのは山の北側にあるブナ林が犯人のようだ。



04.ブナらしき樹の林が道沿いに

更に下って来ると左側に大きな温泉旅館が広がっている。「奥水間温泉」であるが日帰り入浴の案内は無い。入口の道が2車線なのは驚きである。時折やってくる車に注意しながら下って来ると「道陸神社」なる奇妙な名前の神社が誘う。「蔵王大権現」と石標に掘られているので葛城山との関係がありそうだ。丁度休憩するのに良いので立ち寄る。足の病、傷に霊験があるとのことで、膝に問題のある友はこれ神の霊示かと拝殿に向かう。



05.大きな温泉施設が山奥に



06.この神社で一休み、足の悩みを聞いてくれそうだ

どんどん下り阪和道の高い高架橋の下を潜り「木積」地区までやって来ると、川に架かる橋の名は「大橋」。何とも素っ気ない橋名であるが親柱には近くの「孝恩寺」の「釘無堂」の姿が彫られている。橋の袂の小広場に懐かしい「とくし丸」の移動スーパーがやって来てオープン。軽トラの棚にぎっしりと多くの食品が詰められている。徳島県の河川の上流部で見かけた「とくし丸」に泉州で出会うとは！



07.「大橋」とは大胆な橋名だ。近くのお堂が親柱に



08.徳島の山奥で出会った「とくし丸」が貝塚に来た

陽が傾きかけた頃に「水間寺」に着く。寺の入口に架かる橋は立派なアーチ橋である。境内の本堂と三重の塔が際立つ。天台宗の別格本山で行基の創建である。「近木川」とその支流の「柵谷川」の合流点の川の間建つ寺の名は「水間」。分かり易い！橋を渡ると直ぐに大きな「聖観音立像」が西陽を浴びて立っておられる。寺のご本尊は聖観音である。

境内には「お夏清十郎」の墓が有り、縁結びの「愛染堂」がある。



「水間寺」の入口は立派なアーチ橋



09.

10.「聖観音立像」がすっくと立っておられる



11.水間寺の解説板



12.境内には珍しい三重塔が

寺を出て府道を離れ狭い参道に入る。道端には行基を導いた童子のややグロテスクな小さな像が点在している。今のアニメを先取りしてまんな。水間観音駅には行基よく並んだ童子の誘い看板が有った。



14.狭い路の足元に「童子」の像が

13.「行基」が大勢の「童子」に誘われて水間に着き寺を建てたとサ

難波駅を降りせっかくなので「法善寺横丁」に向かい焼き鳥やの暖簾を潜ると「今日は予約さんでいっぱいですねん」。ようやくたどり着いたのに残念！仕方なく地下街に戻り友と暫しビールを傾ける。普通の生活が戻りつつあるが各々の方、注意召されよ！

本日の歩行距離：8.5km。調査した橋の数：19。

総歩行距離：11,193.4km。総調査橋数：14,604

使用した1/25,000地形図：「内畑」（和歌山10号-2）